

編集後記

今年も、何とかスポーツ科学研究所所報第13号（2018年）を発行することができた。巷のキャッチフレーズを借りれば「平成最後の所報」である。当時の小淵官房長官が「平成」の元号を掲げた姿が今も強く印象に残っているが、それから30年の間に、気象・天災、経済、政治、文化面で様々な出来事があった。スポーツの世界も、スポーツ基本法制定、スポーツ庁設置、東京オリンピック・パラリンピック開催などスポーツを取り巻く環境が大きく変化し、社会が抱える問題解決にスポーツが貢献することへの期待がさらに高まっている。

本学でも、今春からスポーツ健康学部の研究会（ゼミ）が始まる。学生が興味を持った研究テーマを掘り下げていく中で、スポーツを楽しむだけでなく、スポーツを通じた社会貢献が実践できるよう、学生と一緒に学んでいきたいと思う。これまでのスポーツ科学研究所の活動をより充実させていくとともに、新たな活動に取り組む準備をしているところである。

（高野千春）

投稿された論文に対して査読の労をとってくださったのは、以下の先生方です。記して謝意を表します。

谷本英彰（大阪産業大学） 丹治史弥（国立スポーツ科学センター） 柳谷登志雄（順天堂大学大学院）

編集委員

久保潤二郎 加藤雄一郎 高野千春

平成国際大学スポーツ科学研究所所報 2018

発行日	平成31(2019)年3月31日
発行所	平成国際大学スポーツ科学研究所 〒347-8504 埼玉県加須市水深大立野2000
TEL	0480-66-3002
印刷所	(株)インフォルム